

2026 年度

入学試験問題

(2 月 1 日午前)

第
一
回

社 会

- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 2 開始の合図があったら、最初に問題用紙 8 ページ, 解答用紙 1 枚を確認してください。
- 3 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 4 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは声を出さずに手をあげてください。
- 5 文字は正確にていねいに書いてください。
- 6 問題用紙は回収しません。
- 7 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 8 試験時間は理科・社会あわせて 60 分です。終了 5 分前になったら知らせます。
どちらから先に解答してもかまいません。
- 9 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

本校では2025年の7月下旬、（あ）から80年目の夏を迎えるにあたって、「歴史をみつめる意味をみんなで考えよう」というフィールドワーク型の講座を中学生対象に開講しました。この講座では、東京から遠く離れた（い）の地で実際に被爆した教会など（【写真1】）を訪れたほか、“（い）で暮らす同年代たちがこの節目の年にどのようなことを考えて、世界に発信しようとつとめているのか”を交流会で学びました。（い）は古くから港湾都市として栄え、南蛮貿易によってキリスト教の宣教師が多く入ってきたこともあり、今でも130を超える数の教会が点在しています。

また、造船業でも有名であった（い）には、三菱重工業が設営した大規模な造船所があり、その施設の一部は世界遺産にも登録されています。本講座でも、造船所内の最古の建物であり、船を造る際の「木型」をつくる場所であった「旧木型場」（【写真2】）を実際に訪れることができました。①この赤レンガ造りの「旧木型場」は1915年に現在の形に増改築され、現在まで姿を変えずに残っています。

1930年代・40年代の日本においても、この三菱造船所は海軍むけの軍需品をつくる大きな役割を果たしました。1930年代の日本は、不景気や凶作に悩まされるようになり、中国方面への積極的な進出を進めようとする考え方を広めました。②中国の東北部にその足がかりを求めた日本は、満州事変を起こしました。当時の大国は中国を支援し、日本の政治家は長引く戦争による資源不足を、東南アジア方面への進出という形で解決しようとしていました。こうした日本の更なる「南進」を警戒したアメリカは、日本に対する石油の輸出を禁じました。日本はこれを受けて、和平の交渉を断ち切ることを決め、1941年の12月、（う）にある海軍基地を攻撃しました。（う）への攻撃はアメリカからは奇襲とみなされ、日本は圧倒的な経済力・生産力をほこっていたアメリカと正面から対立することになりました。当初は順調に勝利を重ねていた日本でしたが、アメリカ側の反撃が始まると、日本が占領していた島々もアメリカ軍の上陸攻撃を受けるようになりました。

しだいに日本本土に迫ってきたアメリカは、1945年の春には（え）にて一般の住民を巻き込んだ激しい戦闘を繰り広げました。現地の男子学生は日本軍とともに戦い、女学生は負傷兵の看護などにあって「本土での決戦までの時間かせぎ」を数か月間、担うこととなりました。この（え）での戦争では、60万人近くいた県民のうち12万人以上が亡くなりました。日本本土で激しい空襲が続く中でも、日本政府の指導者たちは戦争をやめるという決断がなかなかできませんでした。結果として日本人の軍人・民間人は310万人以上、世界全体では6000万人以上が第二次世界大戦によって命を落としました。この戦争を最後まで戦った③日本はGHQの占領を受け、さまざまな戦後改革が行われることとなりました。



【写真1】爆風で吹き飛ばされた
浦上天主堂の鐘楼^{しょうろう}



【写真2】旧木型場

(1) 文中の（ あ ）に入る言葉を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 昭和時代が始まった年
- イ 日中戦争が始まった年
- ウ 日本が無条件降伏^{みく}を受け入れた年
- エ 日本で男女普通選挙^{しふ}が実施された年

(2) （ い ）に入る都市名を、漢字で答えなさい。

(3) 下線部①について、この木型場が増改築された8年後の9月1日に、日本の別の都市では、死者・行方不明者が10万人を超え、町並みのあり方や建築方法を見直す大きなきっかけとなった出来事が起こりました。その出来事とは何か答えなさい。

(4) 下線部②について、このできごとに関する説明文を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 満州にいた日本軍は、鉄道の線路を爆破^{ばく}したのはロシアのしわざであると主張した
- イ 満州にて日本は、中国とは別の国家をつくり「大日本帝国^{てい}」と名づけた
- ウ 日本は満州への進出をとがめられた結果、国際連合から脱退^{だつ}した
- エ 日本国内ではこれ以降、軍人が首相暗殺事件や反乱を起こし、発言力を強めていった

(5) 文中の（ う ）に入る地名、（ え ）に入る県名を答えなさい。

(6) 下線部③について、その中で制定された日本国憲法は、“どのような目的で、どのような特徴^{ちゆう}をもつ憲法”となっているか、説明しなさい。

(7) 第二次世界大戦と日本の関わりについて、説明文を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本は、フランスやドイツと軍事的に結びついていた

イ 日本は、全ての政党を解散させ戦争のために国全体をあげて協力を仰^{あお}いだ

ウ 日本は、香港^{ほんこん}や朝鮮^{せん}の人々にも日本語教育を行い、日本軍として組織した

エ 日本は、終戦が近づいた頃^{ころ}には新たにドイツとも戦うことになった

(8) 第二次世界大戦後の不況^{きよう}におちいていた日本が、経済を建て直すことに成功したのは、どのような国外の状況があったからであるといえるか説明しなさい。

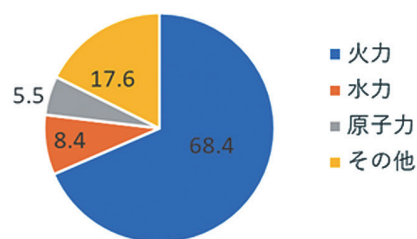
次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

秋田県の県庁所在地秋田市は人口 29 万人（2025 年）で県内最大の都市です。秋田県は東北地方では唯一 10 万人以上の都市が一つしかない県であり、秋田市の人口は東北地方最大の都市、（あ）市の人口と比べるとその人口の 30% にも満たない数字です。このような秋田県の課題の一つに人口減少問題があります。1956 年には 134 万人だった人口が、一時的に増加に転じた年があるものの減少を続け、2024 年には 89 万人になっています。人口減少の原因は高度経済成長期には就職の機会を求めて若い世代が県外に流出したことが考えられ、今でも高校を卒業する 18～19 歳の転出が見られることから①秋田市を含めた秋田県の人口減少は続いています。

さて、日本の発電は総発電量の約 3 分の 2 を火力発電に頼っており（【グラフ 1】）、火力発電の燃料の一つは石油です。秋田県から新潟県の日本海沿岸地域は油田が分布しており、その油田の一つに 1935 年に採掘が始まった秋田市の八橋油田があります。八橋油田は日本を代表する油田で昭和 30 年代に最盛期を迎え、戦後の復興や高度経済成長を支えた時期もありました。旧雄物川河口の土崎港には八橋油田の原油を精製する製油所があったため、日本石油秋田製油所を対象とした空襲を受けました。それは第二次世界大戦が終わる直前の 1945 年 8 月 14 日のことで日本最後の空襲とされています。このように日本の石油産業の中心的役割を担っていたのですが、産業の発達、自動車の普及などで原油の消費量は増え、国内で産出される原油は国内消費量のわずか（い）%（2022 年）にすぎません。

石油や石炭など化石燃料の使用は②地球温暖化の原因と言われ、水力発電や太陽光発電など再生可能エネルギーの使用が進められています。秋田市でも③海岸沿いに風力発電用の風車が設置され、都道府県別風車設置台数では、北海道、青森県に次ぐ 3 位となっています。また、火山が多い日本の特徴を生かした（う）発電は温泉の源泉数が日本一の大分県に次ぐ 2 位であり、再生可能エネルギー先進県を目指しています。

エネルギー源別発電量(%)2022年



出所 データブックオブザワールド2025

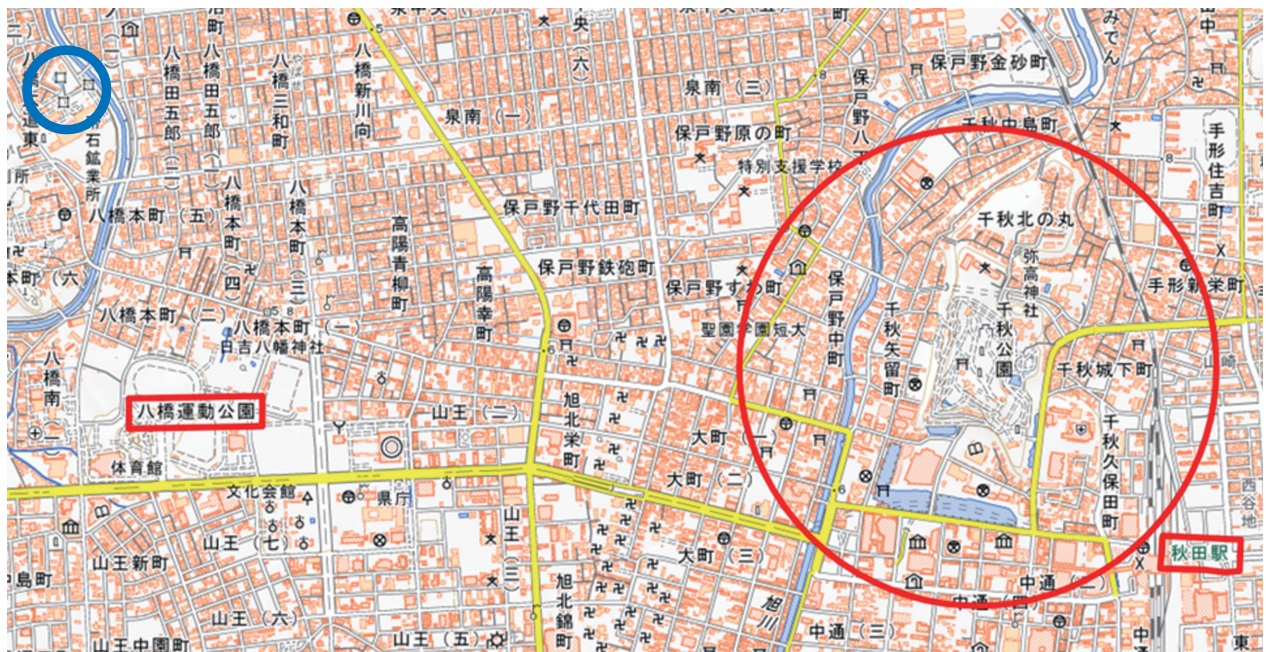
【グラフ 1】



【写真 1】土崎地区



【写真 2】海岸沿いに並ぶ発電用風車



【地図1】地理院地図より作成



【資料1】土崎みなと街づくり協議会 土崎空襲の記録より

- (1) 文中の（ あ ）（ う ）にあてはまる言葉を答えなさい。
- (2) 文中の（ い ）にあてはまる数字を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 0.3% イ 3% ウ 13% エ 23%

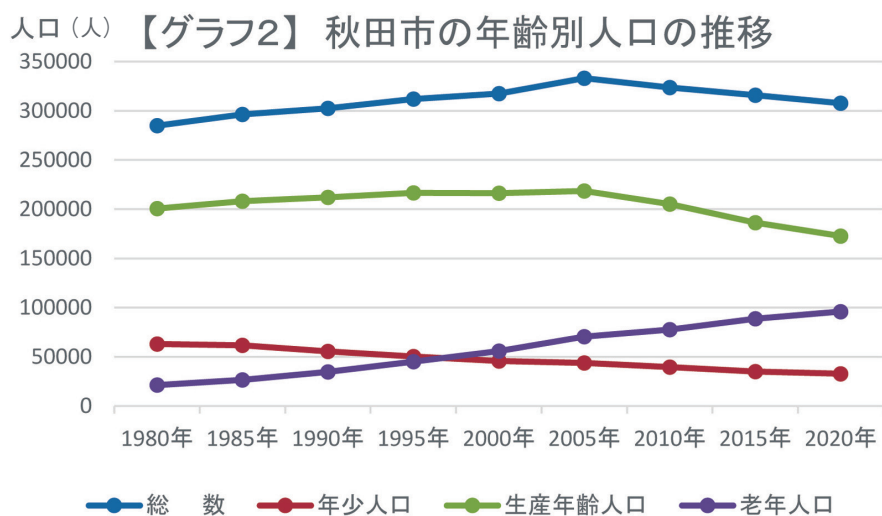
- (3) 下線部①について、【グラフ2】は秋田市の年齢別人口の推移を示したものです。1、2の文章について正誤の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

*年少人口＝0～14歳、生産年齢人口＝15～64歳、老年人口＝65歳以上を指します。

- 1：年少人口と老年人口の折れ線の様子から県庁所在地の秋田市でも少子高齢化が進んでいくと考えられる。
- 2：働ける生産年齢人口が年少人口や老年人口と比較してかなり多いので、秋田市の産業は発達していくことが考えられる。

ア【1：正 2：正】 イ【1：正 2：誤】

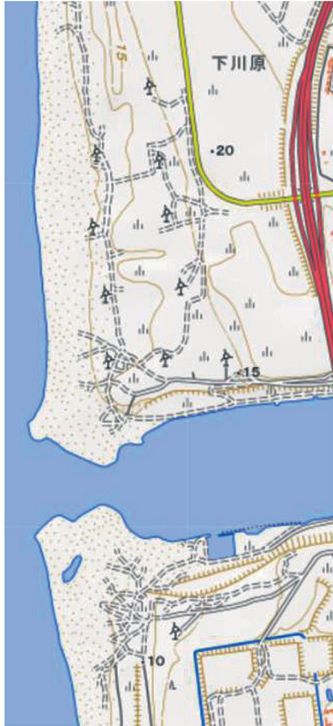
ウ【1：誤 2：正】 エ【1：誤 2：誤】



総務省統計局「国勢調査報告」より作成

- (4) 下線部②について、化石燃料の使用が地球温暖化の原因と言われるのはなぜですか、説明しなさい。

- (5) 下線部③について、風力発電用の風車が下の地図や写真のように海岸沿いに設置されることが多い理由を説明しなさい。



- (6) 市役所から見た八橋^{やばせ}油田^{わく}（青枠）の方位を、【地図1】を参考に8方位で答えなさい。
- (7) 【地図1】で秋田駅から八橋運動公園まで25000分の1の地形図で11cmとすると実際の距離^{きょり}は何mですか。
- (8) 【地図1】の赤枠で囲んだ範囲^{はん}の千秋公園^しにない施設を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 神社

イ 図書館

ウ 小中学校

エ 消防署

3

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本人の働き方は、ここ5、6年で大きく変化しました。会社に出勤せずに自宅で仕事を行い、決まった時間にインターネットを利用して会議を行う、いわゆる①在宅ワークが進みました。厚生労働省の発表によると、在宅ワークをおこなう人の割合は全労働者の約10パーセントで、大企業ほど実施率が高い傾向があるようです。その内容は研究開発から営業まで様々な分野の仕事に広がっています。

一方、街では人間がおこなっていた仕事を②機械に任せているケースが増えてきました。レストランやコンビニエンスストアが代表的です。下の写真のような自動車も実用化されつつあり、今後もこの流れは続いていくと考えられます。

これから私たちの仕事や生活の中に機械が導入されることは楽しみであると同時に、さまざまな課題も出てきそうです。



- (1) 下線部①について、在宅ワークの問題点を説明しなさい。
- (2) 下線部②について、今後機械はどのような仕事を始めると考えられますか。あわせて、それによって生じられる課題についても説明しなさい。

2026年度 社会 解答用紙 第1回 (2月1日午前)

受 験 番 号				氏 名		得 点	
						*	

*印のところは、何も記入しないでください。

1

(1)			(2)				
(3)				(4)			
(5)	う				え		
(6)	-----						
(7)							
(8)	-----						

小 計	
*	

2

(1)	あ				う		
(2)			(3)				
(4)	-----						
(5)	-----						
(6)				(7)	m		
(8)							

小 計	
*	

3

(1)	-----					
(2)	-----					

小 計	
*	